

令和 3 年度事業報告

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 3 1 日までの事業概要は、次の通りです。

【 1 】 社員総会

[1 - 1] 第 6 2 回定時社員総会

- (1) 開催日 令和 3 年 5 月 21 日 13 時 30 分～15 時 00 分
- (2) 開催場所 KKR ホテル東京 11 階会議室「白鳥の間」
住所 東京都千代田区大手町 1 - 4 - 1
- (3) 出席者 社員総数 22 社 出席社員 12 名（委任状の提出者 10 名）
- (4) 議案

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告承認の件

事業報告書に基づいて概要説明を行った後、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 2 号議案 令和 2 年度通期決算報告承認の件

計算書類に基づいて説明が行われた。その後監事を代表して村田監事より監事報告がなされたうえで、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 3 号議案 令和 3 年度事業計画承認の件

令和 3 年度事業計画について説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 4 号議案 令和 3 年度収支予算承認の件

令和 3 年度収支予算について議案資料に基づき説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 5 号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件

本総会終結の時をもって理事及び監事全員の任期満了となり、新たに理事 12 名、監事 2 名を選出する件について特に発言が無かったため事務局案が説明され承認を図ったところ異議無く事務局案通り可決承認された。理事の新任は 5 名、重任は 7 名、監事は 2 名とも新任である。

★前段で国土交通省大臣官房技術審議官（鉄道局担当）江口秀二様よりご挨拶がありました。

○理事選任者

法人名	氏名	役職	記事
日本信号(株)	塚本英彦	理事	新任
(株)京三製作所	戸子台努	理事	重任
大同信号(株)	佐藤盛三	理事	新任
(株)一誠電機製作所	今川英明	理事	重任
(株)大館製作所	中田直文	理事	重任
信号器材(株)	前島敏雄	理事	重任
東邦電機工業(株)	村田章臣	理事	新任
(株)西村電工	久米聡	理事	新任
日本産業(株)	中上宗嗣	理事	重任
(株)峰製作所	峰敏晃	理事	重任
吉原鉄道工業(株)	小宮山憲一	理事	重任
(一社)信号工業協会	兼次豊明	理事	新任

○ 監事選任者

法人名	氏名	役職	記事
(株)三工社	宗方江一郎	監事	新任
(株)てつでん	山内崇	監事	新任

以上をもって第62回定時社員総会提出議案の審議は全て終了し、15時に閉会した。

(5) 令和3年度表彰式（信号功労賞）

(6) 記念講演会

講師 鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部長 川崎 邦弘 様

(7) 懇親会

(5)(7)項の総会行事は、新型コロナウイルス感染予防のため、中止となった。

(6) は対面で講演を行うとともに、会員会社用として ZOOM により配信をした。

[1 - 2] 臨時社員総会（書面決議）

（１）会議の趣旨

会員（社員）から代表者の変更届及び監事の辞任届が提出されたので、新監事の補欠選任を行うもの

（２）会議の日時及び場所

評決表の回答期限及び宛先をもって会議の日時及び場所とする。

（３）評決の方法

一般社団・財団法人に関する法律第 58 条第 1 項（当協会定款 第 3 章第 23 条）（決議の省略）の規定に基づき社員総会の決議事項について、信号工業協会正会員 22 社の社員は書面（評決表）をもって賛否を評決することとし、全員の同意をもって決議される。決議があったとみなされる日は評決表の回答期限の日（7 月 16 日）とした。

（４）決議事項（議案）

第 1 号議案 監事辞任の伴う新監事補欠 1 名選任の件

代表理事の塚本英彦氏が社員全員に対して上記総会の審議事項につき提案書を発し令和 3 年 7 月 16 日に社員全員から評決表が提出された議案に対して賛成の意思表示を得た。よって規定に基づき当該提案を可決する旨の総会の決議があったものとみなされた。

補欠選任監事候補者名簿

補欠選任監事候補者			監事辞任届け提出者	
氏 名	会社名・役職	任 期	氏 名	会社名・役職
大串 裕郁	(株)てつでん 代表取締役社長	前任者の残存期間（令和 5 年度 定時社員総会終 結の時）	山内 崇	(株)てつでん 前代表取締役社長

【2】理事会

[2-1] 第1回理事会

- (1) 開催日 令和3年5月21日 13時30分～
- (2) 開催場所 KKRホテル東京 11階会議室
- (3) 出席者
理事総数 12名、監事総数 2名、合計 14名
出席理事 9名、出席監事 2名、合計 11名
- (4) 議案
 - 第1号議案 令和2年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 令和2年度収支決算報告承認の件
 - 第3号議案 令和3年度事業計画承認の件
 - 第4号議案 令和3年度収支予算承認の件
 - 第5号議案 任期満了に伴う理事・監事選任の件
- (5) 審議及び決議
提出された第1号～第4号決議議案はすべて可決承認され、第5号議案も異議無く承認され、社員総会への付議が了承された。

[2-2] 第2回理事会

- (1) 開催日 令和3年5月21日 15時00分～15時10分)
- (2) 開催場所 KKRホテル東京 11階会議室
- (3) 出席者
理事総数 12名、監事総数 2名、合計 14名
出席理事 9名、出席監事 2名、合計 11名
- (4) 議案
 - 第1号議案 代表理事及び専務理事選定の件
 - 第2号議案 協会事務局職員任免の件
 - 第3号議案 運営幹事交代の件
- (5) 審議及び決議
提出された決議議案はすべて可決承認された。

○ 代表理事

法人名	氏名	協会役職	記事
日本信号(株)	塚本英彦	代表理事・会長	新任
(株)京三製作所	戸子台努	代表理事・副会長	重任

○ 専務理事

法人名	氏名	協会役職	記事
(一社) 信号工業協会	兼次豊明	専務理事・事務局長	新任

○ 協会事務局職員任免の件

新任職員		退任職員	
氏名	会社名・役職	氏名	会社名・役職
渡邊 寛志	栃木日信株式会社 代表取締役社長	大橋 成行	信号工業協会事務局

○ 運営幹事会幹事交代の件

新運営幹事会幹事		旧運営幹事会幹事	
氏名	会社名・役職	氏名	会社名・役職
梅原 岳久	(株)てつでん 技術本部 技術企画室長	大串 裕郁	(株)てつでん 取締役 営業本部長

[2-3] 第3回理事会

(1) 開催日 令和3年11月10日 15時00分～16時30分

(2) 開催場所 大同信号株式会社 本社会議室

(3) 出席者

理事総数 12名、監事総数 2名、合計 14名

出席理事 12名、出席監事 2名、合計 14名

(4) 議案

第1号議案 令和3年度上期事業報告承認の件

第2号議案 令和3年度上期収支決算報告承認の件

第3号議案 令和3年春の叙勲受賞者の件

第4号議案 令和4年春の叙勲候補者推薦承認の件

第5号議案 運営幹事交代の件

第6号議案 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会の件

第7号議案 事務局内規変更の件

(5) 審議及び決議

提出された第1号～第7号決議議案は審議の結果異議無くすべて可決承認された。

[2-4] 第4回理事会

(1) 開催日 令和4年3月23日 15時00分～16時30分

(2) 開催場所 日本信号株式会社 本社会議室

(3) 出席者

理事総数 12名、監事総数 2名、合計 14名

出席理事 12名、出席監事 1名、合計 13名

(4) 議案

第1号議案 令和3年度事業報告承認の件

第2号議案 令和3年度収支決算報告（予測）承認の件

第3号議案 令和4年度事業計画（案）承認の件

第4号議案 令和4年度収支予算（案）承認の件

第5号議案 令和4年秋の叙勲候補者推薦承認の件

第6号議案 令和4年度信号貢献賞・信号功労賞候補者承認の件

第7号議案 運営幹事交代の件

(5) 審議及び決議

提出された第1号～第7号決議議案は審議の結果異議無くすべて可決承認された。

【3】運営幹事会（令和3年度）

運営幹事会の構成

幹事長 藤原 健(日本信号)、國澤良治(京三製作所)、上田卓正(三工社)、平塚益廉(信号器材)～11月30日、小林浩明(信号器材)12月1日～、平井俊雄(大同信号)、大串裕郁(てつでん)～5月31日、梅原岳久(てつでん)6月1日～、村田崇臣(東邦電機工業)、中島 勇(吉原鉄道工業)以上8社8名及び協会事務局2名の計10名で構成。

コロナ禍における感染防止対策の観点から、令和3年度は、第8回と第10回以外はZOOMによるWEB会議とした。

1. 第1回(R3.4.22)

- (1) 令和2年度3月度月次決算報告及び令和2年度通期決算報告
コロナ禍の影響と事務所移転の影響があったが、イレギュラーな出費はない。
- (2) 令和2年度第4回理事会
会議録にて報告
- (3) 第62回定時社員総会・令和3年度第1回・第2回理事会について
5月21日開催予定である社員総会、第1回・第2回理事会は、コロナ禍ではあるが対面で行う。
- (4) 第62回定時社員総会行事について
表彰式・記念講演会・懇親会は新型コロナの感染状況を見ながら判断する。
- (5) 会報第48号編集委員会
巻頭言は信号器材(株)平塚本部長に依頼。各社に原稿の積極的な投稿を依頼。
- (6) 令和3年春叙勲
日本信号元社員、笹沼久男氏のⅡ類叙勲の内示があった。正式には4月29日の発令となる。
- (7) 官民人材交流センター
内閣府より情報。
- (8) 2021年度卒業、終了予定者等の就職採用活動に関する要請
就職活動に対する申し合わせ。

(9) 運営幹事会の予定、その他

2. 第2回(R3.5.27)

(1) 令和3年度4月度月次決算報告

本会員・賛助会員からの4月1か月の会費収入についての報告。

(2) 令和3年春の叙勲

日本信号(株)元社員、笹沼久男氏の瑞宝単光章受章が正式に発表された。

(3) 第62回定時社員総会、第1回・第2回理事会について

概要を報告。

(4) 定時社員総会行事について

表彰式・懇親会は中止とした。記念講演会は鉄道総研の川崎部長ご協力を実施し、会員企業にZOOMで配信した。

(5) 会報第48号編集委員会

原稿内容の確認、依頼。

(6) RQMS協議会(国土交通省鉄道局技術企画課車両工業企画室)

RQMS対応タスクフォースにて(1)IRIS認証の対応・短期的喫緊の課題(2)国際的にオープンなRQMS認証制度の構築・将来に向けた対応の検討、が課題。このための協議会を立ち上げたいとの要請。協会として参加すると回答。

(7) セーフティネット5号に係る業態調査

約1年ぶりの調査で内容は従来と同様。今回も精査し希望「なし」を回答。

(8) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する勉強会

(9) 国土交通省よりコロナ関連の周知連絡

(10) 令和3年度鉄道関係功労者大臣表彰受賞候補者の推薦について

受賞候補者がいないため推薦は見送った。

(11) 運営幹事会の予定、その他

3. 第3回(R3.6.24)

(1) 令和3年度5月月次収支報告

会費収入は順調に推移、支出は総会費用ほか予定通り。

(2) 令和3年春の叙勲者へ物品引渡し

伝達式が中止となったため日本信号(株)元社員笹沼久男氏への勲章などの物品が鉄道局技術企画課担当より引き渡された。

(3) 臨時社員総会(書面決議)の件

(株) てつでん様より代表者の変更と監事の交代についての申請があり、7 月に臨時社員総会（書面決議）を行う旨の報告。

(4) 会報第 48 号の件

7 月に発行する旨報告。

(5) RQMS 協議会について（鉄道局 技術企画課 車両工業企画室）

同協議会に、日本信号（株）森貞晃氏、（株）京三製作所 畑好之氏、大同信号（株）加納政貴氏の 3 名を委員として推薦。7 月に第 1 回協議会開催。

(6) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する勉強会

(7) 国土交通省よりコロナ関連の周知

(8) JARTS より海外鉄道関連の情報

(9) 運営幹事会の予定、その他

4. 第 4 回(R3.8.26)

(1) 令和 3 年度 6 月度及び 7 月度月次決算報告

入金、支出とも順調に推移している。

(2) 当協会元会長（日本信号（株）元代表取締役会長）西村和義氏の逝去について

【官公庁関係】に記載

(3) 臨時社員総会（書面決議）の件

臨時社員総会（書面決議）を行った結果、7 月 16 日に社員 22 名からの賛成の意思表示を得たので総会の議決があったものとみなされた件の報告。

(4) 令和 2 年春、令和 3 年秋の中級章受賞者の宮中見学会の件（再延期）

9 月上旬に行うとの連絡があったが、その後実施延期の連絡あり

(5) 令和 4 年春の叙勲候補者推薦の件

(6) RQMS 協議会について

第 1 回 RQMS 協議会が WEB で開催され、需要の実情把握と意見集約を図るためアンケートを実施。

(7) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する勉強会

(8) 国交省経由財務省主税局より「租税適応実態調査」の依頼

毎年行われている試験研究費に関する租税特別措置の利用状況に関する調査。
8 月 19 日に報告済み。

(9) 国交省より「陸運機器等に関する調査（令和 2 年分）」も依頼

毎年の調査ですが、各社の協力で 7 月 29 日に報告済み。

(10) JARTS より海外鉄道関連の情報

- (11) 国土交通省よりコロナ関連の周知
- (12) 運営幹事会の予定、その他

5. 第5回(R3.9.24)

- (1) 令和3年度8月度月次決算報告
8月度月次決算では支出累計が46%となっており、順調に推移している。
8月の支出は会報の印刷・製本費用やIT機器老朽化更新などである。
- (2) 当協会元会長（元日本信号代表取締役会長）宮路長禮氏の逝去について
【公官庁関係】に記載
- (3) 国交省_令和3年秋の叙勲内示について
- (4) RQMS協議会について
アンケートの集計方法と報告
- (5) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する勉強会
- (6) 令和3年電気関係受章者祝賀会
今年度は感染防止対策のため「中止」となった。
- (7) 「価格交渉推進月間」の実施について（周知）
官公庁関係[5-3] 経済産業省関係（国土交通省・中小企業庁）参照
- (8) JARTSより情報発信
- (9) 国土交通省より情報発信
- (10) 会報第49号の件
- (11) 信号工業協会の予定
- (12) 運営幹事会の予定
第6回、第7回はWeb会議での開催を確認。

6. 第6回(R3.10.28)

- (1) 令和3年度9月度月次決算報告
9月度月次決算では支出累計が51%となっており、順調に推移している。
- (2) 令和3年度上期決算・第3回理事会上程議案説明
- (3) 第7回鉄道技術展について
当協会の会員会社から11社が出展する。
- (4) セーフティーネット保証第5号に係る業態調査について
希望無を報告した。
- (5) 令和3年度「しわ寄せ」防止キャンペーン月間の実施周知
国土交通省経由、厚生労働省及び中小企業庁からの会員各社へ周知依頼。

- (6) JARTS より情報発信
- (7) 国土交通省より情報発信
- (8) 会報第 49 号の件
- (9) その他報告事項（叙勲関係、賀詞交歓会関係）
- (10) 運営幹事会の予定
第 7 回はWeb 会議での開催を確認。

7. 第 7 回(R3.11.18)

- (1) 令和 3 年度 10 月度月次決算報告
10 月度月次決算では支出累計が 55%となっており、順調に推移している。
- (2) 令和 3 年度第 3 回理事会報告
全上程議案が異議無く承認された。「鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会」では鉄道総研の藤田殿へアドバイザーとして委嘱する。
- (3) 令和 4 年 信号工業協会 新年賀詞交歓会
感染防止対策の為、テーブルに着席の上参加人数を絞って開催することを説明。
- (4) 令和 4 年秋の叙勲候補者推薦の件
- (5) 令和 4 年度信号功労賞・信号貢献賞受賞候補者推薦の件
- (6) 国土交通省より情報発信
- (7) 会報第 49 号の件
- (8) その他報告事項
- (9) 運営幹事会の予定
第 8 回は対面会議での開催を確認。

8. 第 8 回(R3.12.23)協会事務所にて対面での開催（本年度初）

- (1) 令和 3 年度 11 月度月次決算報告
11 月度の支出で ZOOM Meeting のライセンス料の支払いがあり、月次決算では支出累計が 62%となっている。
- (2) 令和 4 年 新年賀詞交歓会（令和 4 年 1 月 4 日）
会議当日の感染者数の状況から、テーブルに着席して人数を絞った形での開催を行う事を了承。来賓は国土交通省鉄道局のみとなる。会の進行の確認とあいさつの依頼。
- (3) 令和 4 年秋の叙勲候補者推薦の件
国土交通省鉄道局技術企画課担当より正式に推薦依頼があったので、推薦を検討している会員は 1 月 11 日までに協会宛の推薦状を提出の事。

- (4) 令和 4 年度信号功労賞・信号貢献賞受賞候補者推薦の件
1 月 28 日までに推薦状を提出すること、2 月の運営幹事会での資格審査及び 3 月の理事会での承認を経て決定する旨、確認をした。
- (5) 第 11 回鉄道認証情報交換会
国際規格とセキュリティー、安全セミナーの紹介
- (6) エネルギー使用の合理化に関する法律（省エネ法）の改正に伴う関連業界への説明会（概要）
2050 年カーボンニュートラルや 2030 年度の温室効果ガス排出削減目標の実現に向けての法律改正（案）の業界説明
- (7) JARTS よりの情報提供
- (8) 国土交通省よりの情報発信
- (9) 会報第 49 号について
- (10) 運営幹事会の今後の予定
今後は感染状況により開催方法を柔軟に変更する。

9. 第 9 回(R 4.2.24)

- (1) 令和 3 年度 12 月度・1 月度月次決算報告
賀詞交歓会は人数を絞った形で開催した結果、雑収入（賀詞交歓会の参加費用）がなくなり 25 万ほど収入が少なくなった。支出では賀詞交歓会費用の支払いが発生した。1 月度月次決算では支出累計が 80%となっている。
- (2) 令和 4 年 新年賀詞交歓会（令和 4 年 1 月 4 日）
本年度の開催状況から今後の方針を議論。
- (3) 令和 4 年秋の叙勲候補者推薦の件
会員会社よりの推薦で、I 類候補者 1 名、II 類候補者 2 名を推薦したことを報告。
- (4) 令和 4 年度信号功労賞・信号貢献賞受賞候補者推薦の件
信号功労賞に推薦のあった 8 社 8 名の資格審査を行った。
- (5) 令和 3 年度第 4 回理事会
上程議案の項目説明。人事異動による運営幹事交代の件を説明
- (6) 会報第 49 号
発行の報告と第 50 号発行に向けての課題
- (7) JARTS よりの情報提供
- (8) 国土交通省よりの情報発信
- (9) 運営幹事会、忘年会兼歓送迎会の会計報告

(10) 運営幹事会の今後の予定

今後は感染状況により開催方法を柔軟に変更する。

10. 第10回(R4.3.17) 協会事務所にて対面での開催

- (1) 令和3年度2月度月次決算報告
- (2) 令和3年度第4回理事会上程議案について
- (3) 令和4年度第1回・第2回理事会・第63回定時社員総会開催方
- (4) JARTS・国土交通省よりの情報提供
- (5) 令和4年度運営幹事会の予定について

【4】QC連絡会

機器関連の事故例の検討および品質情報の交換

QC連絡会委員構成 (R2.4.1 現在)

委員長 岸 幸男 (京三)、日本信号3名、京三製作所4名、三工社3名、東邦電機工業2名、吉原鉄道工業3名、信号器材1名、大館製作所2名、てつでん1名、大同信号4名及び協会事務局2名の計26名。

1. 第285回 (R3.4.27)、ZOOMによるWEB会議 出席者14名
各社より品質情報やQC情報の報告、ISO関連の監査報告があった。また、技能向上施策としての国家技能検定試験の取組や環境社会認定試験 (eco 検定) の取組が紹介された。今年度からの新しい取り組みとして各社におけるSDGsの取組の一端が報告され、今回は京三製作所から報告があった。
2. 第286回 (R3.5.28) ZOOMによるWEB会議、出席者15名
協会の社員総会が5月21日開催されて新しい理事、監事体制が選任されたこと、新会長には日本信号(株)の塚本社長が就任したことを報告した。各社より品質情報やQC情報の報告、ISO関連の監査報告があった後に、岸委員長より環境省が発行しているSDGsに関する資料の紹介があった。クールビズや環境週間に対する取り組みやコロナ禍における感染状況や対策、ワクチン接種への取り組みなど身近で切実な問題への対応状況など意見交換が行われた。
3. 第287回 (R3.6.23)、ZOOMによるWEB会議 出席者14名
今回より渡邊業務部長が参加する旨報告があった。SDGs勉強会として①ミレミアム開発目標②SDGsの意味③目的④SDGsのアクションプラン2021について、・基本的な考え方・2021年の重点目標・「SDGs実践指針」の8つの優先課題に

関する主な取り組み・優先課題に対する例の報告があった。その後各社より品質情報や QC 情報の報告、ISO 関連の監査報告があった。

4. 第 288 回 (R3.7.28) ZOOM による WEB 会議 出席者 14 名

コロナ禍の中で集団による講習会が実施できないが、講習会資料を展開する方法で周知をした。労働災害状況、中央労働災害防止協会のテキストによる説明、熱中症予防、脚立の使用方法解説など。世界的に発生している半導体製品やナイロン樹脂製品での入手難に対する情報交換を行った。また、会社における PCR 検査などの実施状況について情報交換をした。SDGs については日本信号 (株)、吉原鉄道工業 (株) より資料提供と報告があった。

5. 第 289 回 (R3.8.25) ZOOM による WEB 会議 出席者 14 名

コロナ禍が依然として猛威を振るい新規陽性者の数も依然として減少傾向にはない。各社では従来の感染予防を徹底するとともに、特に休暇明けの作業において熱中症を含め体調管理に苦心している。SDGs での取り組みは「生物多様性とは？」「SDGs ウォッシュ、やっているふり」「鉄道総研の取組紹介」「一部の自治体で始めている環境に配慮した行動に点数化」「ペーパーレス、省電力」「各拠点での美化運動の実施状況」などの発表があった。半導体部品、ナイロン樹脂製品の入手難では各社発注の前倒しなど対策を行っているが、苦慮していることが報告された。

6. 第 290 回 (R3.9.22) ZOOM による WEB 会議 出席者 15 名

コロナの感染者が落ち着いている状況にあるが、足元ではいまだに感染者が出ている職場もある。特に夏休みのお盆の後などに感染している事例がある。ISO (9001、14001) の監査と RQMS 監査が重複している会社では、RQMS で ISO9001 が包含されているといっても事業所により状況が違い苦慮している。半導体部品のひっ迫で製品納期に影響が出ているが、客先でもその事情を認識しており納期調整に協力していただいている等が報告された。

7. 第 291 回 (R3.10.27) 大同信号会議室で対面及び WEB 会議出席者 15 名

コロナの感染状況が落ち着きを見せたため今年度初めて一部の方々と対面で実施すること事ができた。今まで対面の場合は、各社で資料を印刷して持ち寄ってきたが SDGs の勉強会を行っていることもあり今後はペーパーレスで実施することとする。SDGs 勉強会では二酸化炭素の増加と今後の対応について報告があった。信号器材殿よりレールボンド溶接に使用する取り付けクランプのばね折損の原因と対策について報告があった。

8. 第 292 回 (R3.11.16) 大同信号会議室で対面及び WEB 会議出席者 13 名

今回も対面と ZOOM による WEB 会議の併用で行う事となった。協会の渡邊業務部長より 11 月 10 日に開催された当協会の理事会の報告があった。その中で「鉄道信

号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会」が承認され検討書の改定に向けて協議が行われることへの協力要請を行った。SDGs は神奈川県の実践状況の報告があった。

9. 第 293 回 (R3.12.22) 大同信号会議室で対面及び WEB 会議出席者 15 名
品質情報、QC 情報、鉄道事業よりの品質監査状況、事故防止、安全性向上委員会への参画、など日頃の活動報告に加え、各自治体が行っている環境保全活動への参加など、SDGs 関連の取組を情報共有を行った。
10. 第 294 回 (R4.1.19) WEB 会議出席者 13 名
信号器材殿より製品に関する法令や鉄道関連の JIS 規格など、定期的に技術、生産、品質管理担当者間で、再確認を行っている事例を紹介した。また、次次回 (第 296 回) の QC 連絡会では、1 年間にわたって続けてきた SDGs の勉強会での振り返りを行い、次年度への課題を整理することとした。
11. 第 295 回 (R4.2.22) WEB 会議出席者 13 名
QC 情報として購入した電源装置の不具合状況が提示された。製品仕様で定められた対振動値を満足できず、電源内部の部品リード線が断線する事象であった。また、購入製品であるマルチメーターの一部で使用方法により安全上の問題が発生する可能性があることの報告があった。
12. 第 296 回 (R4.3.16)
1 年間にわたって SDGs の勉強会を行ってきたが、自社の取組だけではなく他社や他事業種、自治体の取り組みなど刺激を受け、真の取り組みは何かを意識した活動を今後の課題としたい旨、発言があった。

【5】官公庁関係

[5 - 1] 当協会元会長への叙位について

当協会元会長 (日本信号 (株) 元代表取締役会長) 西村和義様は令和 3 年 7 月 10 日に、宮路長禮様は令和 3 年 8 月 28 日に逝去されました。ここに改めてご冥福をお祈り申し上げます。

また、両氏の旭日小綬章受章や生前の功績に対して、叙位申請を行いました。

西村和義氏は、8 月 17 日に、宮路長禮氏は、9 月 30 日に、位記 (叙位の旨を記して授与される証書) を受領しました。(コロナ禍のため伝達式は行われませんでした。)

位階は従五位 (じゅごい) です。

[5 - 2] 国土交通省関係

1. 第 11 回鉄道製品認証業務運営委員会 (R3.8.3) 13 時 30 分～14 時 30 分 WEB 会議で開催 (Cisco webex)

日本大学の中村英夫名誉教授を委員長に、委員は国交省鉄道局から岸谷技術企画課長、JR 東日本、JR 東海、東京地下鉄の各鉄道事業者、(独法) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構及び(一社) 日本鉄道車両工業会、(一社) 日本鉄道電気技術協会、(一社) 信号工業協会の 3 協会で構成。

事務局は(独法) 自動車技術総合機構交通安全環境研究所鉄道認証室。

審議事項 (1) 認証業務の運営に関する下記事項の妥当性の確認

- ① 認証業務のプロセス及び手順について
- ② 認証業務における公平性の確保について
- ③ 運営方法の見直し及び是正処置の実施状況等について

審議事項 (2) その他認証業務の適切な運営について

報告事項としては「最近の活動状況及び今後の活動予定について」を事務局から報告され質疑応答がなされた。

質疑応答のなかで、R2.4 時点との比較で R3.4 時点では概ね 2 倍の業務量に対応できる体制を確保とは、「審査員の増員により概ね倍になったことから、倍の業務量に対応できるという定義をした」との発言があった。

2. 陸運機器等に関する調査表の提出

国交省(及び経済産業省)では業況の把握及び政策立案のため、鉄道車両、鉄道車両部品、信号保安装置等(以下「陸運機器等」と表現します)の生産額、販売額及び輸出額などを毎年 7～8 月に調査しています。

今年は 6 月 28 日に鉄道局車両工業企画室から「陸運機器等に関する調査(令和 2 年度分陸運機器調査表)」の提出依頼があり、協会正会員 22 社に調査協力をした結果、21 社(8 月決算の峰製作所は別協会から提出)から回答を得た。

協会事務局の判断で最終的に 17 社の調査表を国交省に提出した。

3. 試験研究費に関わる租税特別措置利用状況調査書の提出

本調査は財務省主税局指示により国土交通省鉄道局車両工業企画室経由で各工業界宛に発信される調査依頼であり、毎年 8 月に実施される。

内容は「試験研究費に関わる租税特別措置」の利用状況調査で令和 2 年度実績及び令和 3 年度予定分の調査である。今年度は京三製作所、日本信号、大同信号、三工社の 4 社分のデータを期日 8 月 19 日に提出した。昨年より大幅に前倒しされた日程でしたが各社のご協力に感謝いたします。

4. セーフティネット第 5 号に基づく業況確認について

セーフティネット保証 5 号は、全国的に業況の悪化している業種を国が指定し、当該業種に属する事業を行う中小企業者が経営の安定に支障が生じている場合につき、市区町村長の認定を受けることで保証を受けられる制度で、中小企業者を支援するための制度である（保証限度額は普通保証 2 億円、無担保保証 8 千万円）。

売上高等の減少（最近 3 ヶ月間の売上高等が前年同期比で 5 %以上減少している等）によって経営が悪化した中小企業者がセーフティネット保証制度第 5 号による支援を受けるには、その企業の主たる事業がセーフティネット保証 5 号の「指定業種」であることが前提条件となることから、国交省に対して管轄の業界団体を經由して各企業の四半期ごとの業績を調査しております。

約 1 年ぶりにセーフティネット 5 号に係る業態調査を 5 月 28 日締め切りで依頼されました。当協会では毎年の陸運機器調査を参考に、各会員企業の要請の有無により業種指定に係る希望の有無を報告してきました。今回も同様に精査し、「希望無」を報告しました。また、11 月 4 日、1 月 28 日にも同様の報告をしました。

5. RQMS 協議会（鉄道局 技術企画課 車両工業企画室）

（運営幹事会報告で一部報告）

鉄道品質マネジメントシステム（RQMS）への対応については鉄道技術標準化調査検討会の下で RQMS 対応タスクフォースを実施し、「日本人審査員及び国内の認証体制に関する課題」を議論する方向で整理された。さらに網羅的に議論を行い具体的施策に関する検討を行った。その結果、RQMS タスクフォースでは、（1）IRIS 認証への対応（2）国際的にオープンな RQMS 認証制度の構築、という大きな 2 つの方向性を示した。日本鉄道車輛工業会をはじめとした鉄道産業団体、メーカー、認証機関、鉄道事業者、鉄道総研、国土交通省鉄道局等が参画する「RQMS 協議会」を立ち上げ取り組む事とした。

当協会にも参画の打診があり、参画を表明するとともに以下の 3 名を委員として推薦した。日本信号（株）森貞晃氏、（株）京三製作所畑好之氏、大同信号（株）加納政貴氏。7 月 12 日に第 1 回 RQMS 協議会が開催され RQMS への具体的な対応を検討するにあたり、必要な人材・認証基盤などを確保する観点から、需要（具体的なニーズ等）の実情を把握するとともに意見集約を図りその結果を反映することが必要と判断しアンケートを実施した。アンケートは 5 社より回答があり、エクセルの集計シート（国交省が用意）に社名を記載しない形で転記し、9 月 1 日に事務局（鉄車工）へ提出した。今後はアンケート結果に基づき議論を深める。10 月 22 日に開催された第 2 回 RQMS 協議会ではアンケートの結果を整理検討し今後の方向性を協議した。その結果(1)IRIS 認証の使い勝手向上の方策(2)IRIS 認証への対抗軸の構築の方策を総合的・戦略的に進めるための検討チーム（RQMS 協議会の委員とは別）を立ち上げることが提案された。その後 12 月 14 日～22 日にかけて開催（書面決議）された第 3 回 RQMS 協議会で検討チームの構成について承認を得た。現在検討チームにより方策の詳細について検討が行われている

が、3月中に第4回協議会を開催し、検討チーム会議での検討状況の報告などが報告された。

6. 令和3年春・秋の叙勲受章者について

令和3年春Ⅱ類受章者、元日本信号社員、笹沼久男氏

令和3年秋Ⅱ類受章者、元京三製作所社員、久徳謙二氏、元大同信号社員、藤田芳生氏

7. 令和4年春の叙勲候補者推薦について

令和4年春のⅡ類叙勲候補者、元日本信号社員、齋藤謙一氏（3/15に内示有）

8. 令和4年秋の叙勲候補者推薦について

元三工社社員、原宇多茂氏、元京三製作所社員、大川次夫氏

9. 第11回鉄道認証情報交換会（R3.12.08WEB会議にて開催）

事務局は（独法）自動車技術総合機構交通安全環境研究所鉄道認証室

(1) 鉄道認証室の活動状況

(2) 鉄道認証システム等の改定について

(3) 最近の国際規格審査におけるトピックについて

(4) 航空機の品質、安全・信頼性の認証の仕組みと鉄道 RQMS、RAMS

(5) 来年度のセミナーの案内

[5-3] 経済産業省関係（国土交通省・中小企業庁）

1. 「価格交渉促進月間」の実施について

中小企業庁では、かねてより発注側企業と受注側企業との取引適正化に向けた取り組みを行っている。中小企業庁の下請けGメンによるヒアリング調査などによれば、依然として発注側企業から一方的な原価低減要請が行われているほか、労務費や原材料価格が上昇している受注側企業が、発注側企業に対して価格交渉を申し込むことすら難しい実態が存在している。

このため、最低賃金の改定を含む労務費や原材料費等の上昇などが下請け価格に適正に反映されることを促すべく、本年9月を「価格交渉促進月間」に設定することが、令和3年8月25日に首相官邸で開催された「中小企業等の活力向上に関するワーキンググループ」において関係省庁間で合意された。中小企業庁では、これに基づき、発注側企業と受注側企業との間の価格交渉を促進するための各種施策を行う。

1) 受注側企業への状況調査

10月以降、受注側企業に対し、発注側企業との価格交渉の状況について、下請けGメンによる重点的なヒアリング（2千社程度）や、アンケート調査（数万社に対して配布予定）を実施する。

2) 調査結果の公表

上記1)の受注側企業に対する調査結果に基づき、

- ・先進的な取り組み、グッドプラクティスの公表
- ・アンケートの回答を数値化して集計し、公表することを検討
- ・下請け代金法に違反する事案については、公正取引委員会と連携して対処等を行う。

上記要請を会員各社へ9月3日に配信し周知した。また、3月にも価格交渉を行う企業が多かったことから、3月も価格交渉月間と設定し周知した。(内容は9月と同様である)

【6】他省庁・他協会関係

1. 令和3年電気関係受章者祝賀会(R3.12.9)開催準備

本年度の幹事協会は(一社)日本鉄道電気技術協会が9月3日に3協会の専務理事、担当部長が集まって打合せを行った。

新型コロナウイルス感染症予防の観点から本年の祝賀会は「中止」と決まりました。

また、令和2年と令和3年両年度の受章者には、記念品を贈呈することとしました。来年度はR4.12.9 予定となり幹事協会は信号工業協会となります。

2. エネルギー使用の合理化に関する法律(省エネ法)の改定に伴う関連業界への説明会(R3.12.09WEB会議にて開催)

2050年カーボンニュートラルや2030年度の温室効果ガス排出削減目標の実現に向けて資源エネルギー庁において、非石化エネルギーの使用拡大に関する措置の新設

(特定事業者に対する非石化エネルギーの使用拡大に関する中長期計画及び非石化エネルギーの使用状態等の定期報告の提出を求めるなど)等について省エネ法の改定を検討している。本新設措置については国土交通省所轄の特定事業者等についても対象とする方針としている。

【7】海外技術協力等

1. 海外鉄道技術協力協会(JARTS)(R3.6.29)

第57回定時社員総会が開催され、2020年度事業報告、収支決算報告、2021年度事業計画、収支予算、役員を選任などの議案が審議された。

また、臨時社員総会(2021年度)が9月29日に開催され役員を選任について審議された。

【8】事業活動関係

[8 - 1] 会報の発行

会報第 48 号（令和 3 年 7 月）を発行した。

会報第 49 号（令和 4 年 1 月）を発行した。

[8 - 2] 信号工業協会表彰

令和 3 年度の協会表彰は信号貢献賞 1 名、信号功労賞 9 社 9 名の方々が受賞した。

○信号貢献賞 1 社 1 名

	受賞者名	会社名	協会役員歴
1	今川 英明	(株)一誠電機製作所	理事・監事在籍 5 年 5 か月

○信号功労賞 9 社 9 名

	受賞者名	会社名	部署・役職
1	眞砂 和隆	吉原鉄道工業(株)	技術部 課長
2	盛永 伸一	(株)峰製作所	八幡支店 信号整備課長
3	渡部 滋	東邦電機工業(株)	生産本部 資材部 外作課長
4	瀧澤 敦	(株)三工社	生産本部 生産管理部 生産推進課長
5	荒木 利晃	(株)てつでん	生産本部 豊中工場長
6	高坂 和枝	大同信号(株)	技術生産本部 浅川事業所 検査部 機械検査課
7	臼井 勉	信号器材(株)	鉄道事業本部 鉄道生産部 物流課
8	高橋 亨	日本信号(株)	久喜事業所 品質保証部 信号保証 2G 課長
9	植田 博司	(株)京三製作所	信号事業部 第 1 技術部 専門課長

[8 - 3] ホームページの維持管理

協会ホームページは適時更新をしています。5 月以降 3 月までに 下記項目の更新を実施した。

- ① トピックスを最新 1 年間の行事に更新
- ② 協会概要の事務局名簿を変更（業務部長の交替による）
- ③ 役員名簿の更新（会社役職の変更）
- ④ 事業報告・会計報告の令和 2 年度分を掲載
- ⑤ 新事務所の案内図更新

- ⑥ 会員ページの「行事予定」に今後 1 年間の行事を掲載
- ⑦ 会員ページに総会終了後の令和 3 年度信号功労賞受賞者の名簿を貼り付け
- ⑧ 国交省の配席図を随時最新版に差し替え
- ⑨ その他

[8 - 4] 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会

第 3 回理事会にて承認をいただいた「鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会」で、アドバイザーで参加いただくことで内諾を受けていた公益財団法人 鉄道総合技術研究所、信号情報技術研究部 信号システム 主任研究員 藤田浩由様との間で、「アドバイザー委嘱に関する承諾書」を正式に取り交わした。委員長は（京三）佐野実氏、副委員長は（三工社）山本芳伸氏、委員は、（日本信号）滝本ジヨ氏、（大同信号）尾崎亮介氏、（東邦電機）山本孝氏、（てつでん）三浦隆男氏、協会は事務局で参加している。約 5 回にわたり藤田アドバイザーより「鉄道信号用電子機器の寿命評価手法」について、加速モデルによる部品単位の寿命予測とはんだ接合寿命予測について非常に貴重なレクチャーを受けたのちに、各社が持っている機器故障の実態の持ち寄り評価をしている。また、現在の耐用寿命報告書の記載方と今後の報告書の方向性について議論を進めている。本年度内までに現状の報告書の精査まで終了する予定で進めた。

[8 - 5] 令和 4 年 新年賀詞交歓会

令和 4 年 新年賀詞交歓会は、1 月 4 日（火）K K R ホテル東京で開催した。コロナ禍での開催であり、感染防止の観点から、全員着席でソーシャルディスタンスを確保し、参加人数を絞った形とした。会員会社、大臣表彰・叙勲受章者、運営幹事、来賓（国土交通省）を合わせて 54 名の参加となった。大臣表彰受章者、日本信号株式会社 取締役会長 降旗洋平様、当協会会長 塚本英彦様、当協会副会長 戸子台努様よりご挨拶をいただいた。また、来賓を代表して国土交通省 大臣官房技術審議官（鉄道局担当）江口秀二様よりご祝辞をいただいた。最後に大同信号株式会社 社長 佐藤盛三様より中締めのご挨拶をいただき、盛会のうちに終了した。